

苫小牧市立清水小学校学校だより

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

第 2 号 令和3年4月30日発行

TEL 33-7285
simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

新しい気持ちで



校長 堀田 稔

新体育館が完成した明るい雰囲気の中、子ども達はそれぞれ一つ上の学年に進み新しく33名の1年生を迎えてひと月がたちました。入学式では、昨年同様、新型コロナウイルス拡散防止のため、多くの我慢をいただいていること、そして、多くのご協力をいただいていますことに心より感謝申し上げます。

新体育館

初めて入り使用する時に、明るさやきれいさに、子ども達は表情いっぱい、体いっぱいに喜びを表してくれていました。完成前の計画では、駒沢高等学校吹奏楽の皆様をお願いして、落成記念をお祝いしようと考えていましたが、残念ながら叶いませんでした。今後、高学年児童の体育館での音楽活動でお祝いをしようと考えております。新体育館完成までご協力いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、子ども達の教育活動に十分役立てていこうと考えております。

新学年・新学級

進級して、教室が変わったり、階が変わったり、勉強する内容が変わったり、二つのクラスが一つになったり、学級の友達が変わったりと新しい空気と気持ちでやる気に満ちて毎日をごしている子ども達に話しかけると『楽しい』と満面の笑みで返事をしてくれます。

この4月の気持ちを持続させるために、今年度は3点を大切にしながら、教育活動を進めていきたいと考えています。

① 子供が自分で決定する場がある授業づくりに心がけること

自分で考え、選び、決定して、実行することができる授業づくりの推進。ただし、考え選び決定する時は身勝手な自己決定ではなく、物事や結果を他の人の責任にするのではなく、自分を振り返り、他の人々を大切にすることを根拠として、考え選び決定できる判断力を育てる授業の充実。

② 自分が大切な存在であることに気づく環境づくりと授業づくりを進めること

授業中など、自分が考えて言った意見や行動を笑われたり、あたまから否定されたりすることがない、悪口やいじめにつながらない環境づくり。自分は大切に価値ある存在だと、自分で実感できる授業づくりと学級環境づくりの推進。

③ 子ども達に安心できる場所がある環境とコミュニケーションの充実を図ること

村度なく自分の考えや意見などを表に出しても、お互いを大切にして、信頼関係を構築できる学級づくりと指導者の意図された声掛けによる授業づくり。友達同士の会話の中でもアンテナを高くした情報収集と安心な場所づくりにつながるコミュニケーションの充実。

今年度も「やったかどうか、何かを計画したか」ではなく「行うべきだったかどうか、行ってどんな効果があったか」など「表面」ではなく「中身」を大切にしたい清水小学校の教育を推進していきたいと思っています。皆様の新しい気持ちでのご理解とご協力、そしてご参画を引き続きよろしくお願いいたします。